

はあとほっとステーションしまだ

優れたヘルスケアサービス構築に向けて —医療者・患者の責任・義務—

2004. 10
Vol. 23

私たち島田病院の職員憲章は「私たちはその人がその人らしく自分の人生を全うすることを心（はあと）と技術（はんず）で支援します」です。八尾はあとふる病院でも、老人保健施設悠々亭でも朝礼などスタッフが集まる機会にはこの職員憲章を唱和します。「その人らしい人生を全うする」「その人らしく生き、死んでいくこと」とはどのようなことでしょうか？それが分からなければ、どうやってそれをサポートしてよいのか見当もつきません。したがって、私たち島田病院のスタッフにとって、そのことを知ることは大変重要なこととなります。

現役スポーツ選手にとっての「その人らしさ」は比較的容易に想像できます。「熱心にスポーツ活動を行い、自分の能力を思う存分発揮して勝負する。結果勝てればいいことはない」と多くのスポーツ選手は練習に明け暮れます。その選手が辛い練習を積み重ねてきて、試合間近にどこかを傷めたとします。それで受診された場合、その方の目標は、「練習の成果を発揮できる状態となり試合に出ること」となるでしょう。この目標をかなえるために、正確な診断に基づいて、治療方針を相談します。痛みを取るためには、しばらく体を使わず安静にすることが一番だとしても、こうした例では、その方法を選ぶことはまずありません。何とか、痛みを取り、試合に出ることを可能とする方法を考えることとなります。しかし、そこにはリスクが伴います。医師と患者さんやご家族の間で、試合に参加することによる危険性も含めて、どういう結論を出すか協議することとなります。

選手が高校3年生の野球部員で、試合というのが甲子園出場をかけた予選だとします。おそらく最後と思われるその試合にはかなりのリスクを冒してでも出場する方向となるでしょう。試合というのが地区予選の決勝だとします。そして、彼のチームはおそらく勝って甲子園に駒を進めるだろうと予測されており、彼が主軸打者だとすると、一回の試合（決勝）は見送っても甲子園での万全の体制を準備することを考えるかもしれません。同じチームの選手と同じ症状でも、彼が1年生だとします。きっと、試合に出ることなど考えず、治療に専念することの方を選ぶでしょう。立場により、

状況により、方向性はさまざまです。

こうした相談も、本人や周囲の希望がはっきりしているから、医療者も分かりやすくなります。どちらともつかない対応では、何となく「無理しないでね」といった玉虫色の方針を選ぶことになるでしょう。その場合は、治療の成果も見えにくくなります。ゴールが明確ではないからです。つまり、ご本人らしい人生を作り上げる主役はいうまでもなく「ご本人」なのです。私たち医療者には「その方針やご希望を、共感を持って聞き取る」という責任があります。さらに、「その方針やご希望に沿った治療方法をそれぞれのよい点や危険性などの特徴を含めて十分説明する」という義務もあります。一方、患者さんとしては「自分のやりたいこと、一番守るべきことが何であるかを当方へ伝える努力をする」責任がありますし、「私たち医療者が提示するいくつかの選択肢からそれぞれの特徴を理解した上で自らが選択する」という義務もあります。そして、選んだ治療を的確に遂行する義務が医療者にはありますし、そこで出た結果については両者が共に背負う責任があるのでしょう。こうして両者がそれぞれの責任や義務を果たして初めて、「その人らしい人生をサポートする」ようなヘルスケアサービスが成り立っていくのでしょうか。

医療者の重い責任と同じくらいヘルスケアサービスの主体である患者さんには大切な役割があるということです。これからの時代、サービス業は顧客の求めるものを「早く、安く、丁寧に、着実に」提供することが要求されます。しかし、何を考えているか分からない顧客に、その顧客が求めているものを提供するようなサービスは不可能です。私たち病院も求められるニーズに応え、ご満足いただけるケアをお届けしたいと願っています。それには、医療者の努力だけでなく、みなさまのご協力が必要なのだということをご理解いただきたいとおもいます。よろしく願いいたします。



島田病院

島田病院 院長 島田 永和

<島田病院 理念>

人間愛と確かな技術に基づき職員全員による患者さま本位のヘルスケアサービスを通し地域の積極的な健康づくりに関与する病院を目指します

<使 命>

良質のヘルスケアサービスを効率よく地域の方々に提供し続けます

<職員憲章>

私たちは、その人がその人らしく自分の人生を全うすることを心（Heart）と技術（Hands）で支援します

インフォメーション

第11回スポーツ選手・指導者交流会

- 開催日時 平成16年10月23日(土) 17:00~20:30
- 開催場所 大阪全日空ホテル 3F 万葉の間(講演)
4F 平安の間(懇親会)
〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-3-1
2 06-6347-1112

- ・16:30~ 受付開始
- ・17:00~ 現場で使えるスポーツ栄養学
島田病院 管理栄養士 角野 章子
ラグビー選手と島田病院の関わり
島田病院 整形外科医師 松浦 健司

- ・18:10~ 特別講演
『チームメイクにおけるマネジメントとコーチング』
講師 平尾 誠二 氏
(神戸製鋼ラグビー部ゼネラルマネージャー、元ラグビー日本代表監督)

- ・19:30~ 懇親会

- 参加申し込み・お問い合わせ
第11回スポーツ選手・指導者交流会事務局
(医療法人 永広会 島田病院内はびきのヴィゴラス)
TEL/FAX 0729-53-1007
※参加の際は予約が必要です

- 予約方法 1電話またはFAXにて予約(はびきのヴィゴラスまで)
2来院して予約(はびきのヴィゴラスまたは1F受付にて)

- 参加費 一般 3,000円 学生 2,000円
※懇親会参加費含む(当日受付にてお支払いください)

診療部

●肥満について(第2回)

昨年に引き続き、肥満について2回目のお話をさせていただきたいと思います。

最近肥満についていろいろなことがわかってきました。例えば肥満がどうしてよくないかという医学的理論を申します。肥満を構成する脂肪細胞にはいろいろな働きがあることがわかってきました。肥満でない状態では脂肪細胞はアディポネクチンという動脈硬化を抑制する物質をたくさん産生しますが、肥満になるとアディポネクチンの産生が少なくなり、動脈硬化が進行するようです。動脈硬化の最もこわい点は血管が詰まりやすくなったり、破れやすくなることです。そのため脳卒中や虚血性心疾患をおこす大きな原因となります。また肥満になりま

すと、インスリンが効きにくくなる物質が産生されて、インスリンというホルモンが全身に作用しにくくなります。(このことをインスリン抵抗性が増すとといいます。)そのため、インスリンがそれを補おうとしますますます産生され、かえって動脈硬化をより進展させる悪循環となることが知られています。インスリンには肥満を促進する作用もあることが知られています。どうも肥満は喫煙と同様に生活習慣病の大きな根源であることがわかってきました。そこで島田病院では、食事療法、運動療法の大切さをあらためて皆様にアピールしていきたい所存です。そして肥満を改善し、予防するお手伝いをさせていただきたい、と思っています。

(内科医長 植田 秀樹)

看護部

●医療安全の取り組みについて

当院では、安全な医療を患者さまへ提供することを目的に、セーフティアシュアランス委員会が様々な取り組みを行っております。そして、院内で取り決められた内容を確実に病棟や外来、手術室で実践するために下部組織として、看護部セーフティアシュアランスチームが活動しております。このチームメンバーは、看護部長と各部署からの代表者達で、ひやりはっとレポートの分析から課題を明確にし、具体的な予防策を進めて

いきます。

最近の取り組みとしては、メンバーが月に1回互いの部署をパトロールし、良いところは自分の部署でも活用し悪いところは、改善策を提案することをはじめました。第4水曜日の16:00頃に、5人の看護師がパトロールをしていますので、患者さまで医療安全についてご意見やご質問がありましたら声をおかけください。

島田病院 公開講座

テーマ「変形性股関節症のリハビリテーション」

平成16年11月20日(土) 15:00~16:30

場所 老人保健施設悠々亭 地下1階職員食堂

講師 整形外科医師 佐竹 信爾

理学療法士 元石 光裕

参加費 無 料

お問い合わせ・参加申し込みは

島田病院 リハビリテーション課 2 0729-52-1590(平日9:00~17:00)

島田病院 1階総合受付 2 0729-53-1001(平日9:00~17:00)

第3回整形外科地域機能連携をすすめる会のお知らせ

平成16年10月16日(土) 15:30~

場所 LICはびきの(大阪府羽曳野市軽里144-1)

参加費 無 料

内容 「MRIを用いた整形外科疾患の診断」

島田病院 整形外科医師 吉田 玄

「当院での足部疾患外傷の手術経験」

城山病院 整形外科医師 熊野穂積

※地域の整形外科診療に関するディスカッション等

参加対象 整形外科医をはじめとした医療従事者

お問い合わせは

島田病院 地域連携課 2 0729-53-1001(代表)

2 0729-53-1147(直通)

～ちょっとトクする話～

健康食材シリーズ 1

野菜を食べよう!!

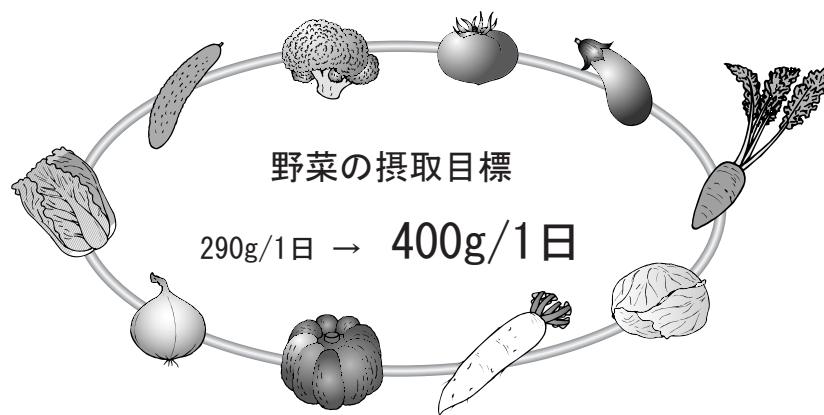
1日の摂取量
400gを
めざして。

日本人の死亡原因の上位を占めるがん・心臓病・脳卒中、そして生活習慣病である糖尿病・骨粗鬆症などは、生活習慣、特に食習慣の影響を大きく受けます。深刻な疾患に発展する前に、そうなりにくい食生活の実現をめざして、その鍵となる食材をとりあげていきます。今回は第1回目として『野菜』をとりあげました。

●1日3回、野菜を食べて体内の掃除を。

予防医学の研究が進むにつれ、生活習慣病の発症に活性酸素が深く関わっていることが明らかになりましたが、野菜は抗酸化ビタミンをはじめ、活性酸素を消去する物質の宝庫でもあります。およそ野菜と名のつくもので、生活習慣病の予防に役立たない物はないと言えます。

今日のわが国には、外食機会の増加、朝食欠食率の上昇、過度なダイエット志向など、野菜不足を招きやすい食生活スタイルが蔓延しています。野菜の平均摂取量は1日1人当たり約290gといわれています。がん・心臓病などの予防には、まだまだ野菜が不足しているのが現状です。がん・心臓病・そして生活習慣病の予防に1日あたり400gを目標にとることをすすめています。



～知って得する豆知識～



『ダイオキシンの体外排泄を促すほうれん草パワー』

環境ホルモンのなかでも毒性の強いダイオキシン。私たちは魚介類や肉類などから、微量のダイオキシンを日常的に摂取しています。ダイオキシンは吸収がよく体内に蓄積されやすく、肝障害やがんの原因となります。

ほうれん草やキャベツ、ごぼうなどの食物繊維がそのダイオキシンを吸着して便中へ排泄してくれます。特に中でもほうれん草を食べていれば、体内に蓄積したダイオキシンの排泄速度は約3倍に。野菜は毎食とることが大切と言えそうですね！

「野菜食べない」を克服する 5つのアイデア



たとえば、一口に「ピーマンが嫌い」といっても、まったくピーマンが食べられないかというけっしてそうとは限らないのではないのでしょうか？「炒め物のピーマンは嫌いだけどピーマンの肉詰めは大好き」というように、なにかしら好んで食べる料理法があるものです。

野菜の新しい調理法をレパートリーにとり入れることも「野菜を食べない！」を克服するアイデアの一つです。毎日の食事作りにお役立てください！！

じっくり煮る・炒める

「他の素材のうまみがしみ込む」
「野菜の甘味を引き出して苦みやにおいを抑える」
「かさが減ってたくさん食べられる」などの
メリットがあります。

例:ポトフ・シチュー・寄せ鍋

この料理でおおよそ280g
野菜が食べられるよ！

弱火でゆっくり火を通す

野菜の甘味が驚くほどきわ立つ加熱法です。
かつ、天然の甘味が野菜の青さや苦みをも
カバーしてくれます。

風味のよい素材を組み合わせる

野菜の持ち味に他の素材の風味をバランスよく
組み合わせると野菜のくせが中和されて
ぐっと食べやすくなります。

例:ほうれん草のゆず和え・チンゲンサイの海苔和え

ただの和え物より
ずっと食べやすくなるよ！

小さく切って調理する

野菜を小さく切ることできせのある風味がやわらぎ、
また独特の食感もやわらげることができます。
調味料のなじみもよくなって一石二鳥です。

例:ラタトゥイユ・ミネストローネ

この料理でおおよそ120~160g
野菜が食べられるよ！

おなじみの主菜や主食に 野菜のアイテムをプラスする

ふだんのおかずを一工夫して野菜と味わう一皿に。
嫌いな野菜を使っていても、
これならチャレンジしやすいはず！
レシピを参考にしてみてくださいね！



簡単クッキング

タイのもみじ焼き

材料/2人分

タイ・・・2切れ(塩少々・サラダ油少々)
にんじん(すりおろし)・・・100g
マヨネーズ・・・・・・・・大さじ2
オクラ・・・・・・・・・・2本

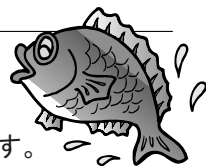
}] a 混ぜる

焼き魚を、にんじんのすりおろしを加えた
マヨネーズソースと食べます。

タイのほか、さわらや鶏肉にも応用できます。

- 1 タイは塩をして10分ほどおき、水気をふく。
- 2 オクラは板ずりしてから塩湯でゆで、水にとってざるにあけ 小口切りにする。
- 3 フライパンに油を熱してタイを皮のほうから焼き、きれいな焼き色がついたら表裏を返し、さっと焼いてとりだす。
- 4 3 の皮目にaをのせてスプーンの背で表面をならしオクラを散らす。オーブントースターで3分ほど焼く。

にんじん嫌いの子供でもマヨネーズの味で美味しく食べてくれますよ！



島田病院では、このニューズ・レターが病院と患者様を結ぶコミュニケーションツールとなるよう願っています。
ぜひ、みなさまからのご意見、ご感想を館内各所に設置している「きくぞう君(ご意見箱)」までお寄せください。